

おたる 西別院だより

季刊 第109号

宗門の新時代の幕開け—第25代ご門主が誕生—

私たちの宗門（浄土真宗本願寺派）では、このたび37年ぶりにお代替わりが行われ、新しいご門主が誕生した。宗祖親鸞聖人以来、時代を超えて受け継がれてきたお念仏の伝統は、去る6月6日（金）に京都の本山本願寺において営まれた「法統継承式」において、第24代即如ご門主から第25代専如ご門主に引き継がれた。当日は国内外から僧侶、門信徒など多数が参拝、歴史的慶事を見守った。

（写真は法統継承式の様子）



盂蘭盆会

8月15日（金）・16日（土）午後1時30分より
小樽別院本堂にて厳修いたします。

お盆参り

8月6日（水）より12日（火）の間でお盆参りに伺います。
（あらかじめハガキにて、参詣日をお知らせいたします。）

納骨堂の読経

8月13日（水）より16日（土）の間は朝8時から
夕方6時まで納骨堂での読経を承ります。

8月6日（水）より17日（日）まで月忌参詣および法事をお休みさせていただきますので、どうぞお寺にお参りください

法統継承

法統継承に際しての消息

本日、私は先代門主の意に従い、法統を継承し、本願寺住職ならびに浄土真宗本願寺派門主に就任いたしました。

ここに先代門主の長きにわたるご教導に深く感謝しますとともに、法統を継承した責任の重さを思い、能う限りの努力をいたす決意であります。

釈尊の説き明かされた阿弥陀如来のご本願の救いは、七高僧の教えを承けた宗祖親鸞聖人によつて、浄土真宗というご法義として明らかにされ、その後、歴代の宗主方を中心として、多くの方々に支えられ、現代まで伝えられてきました。その流れを受け継いで今ここに法統を継承し、未来に向けてご法義が伝えられていきますよう、力を尽くしたいと思います。

宗門の過去をふりかえりますと、あるいは時代の常識に疑問を抱かなかつたことによる対応、あるいは宗門を存続させるための苦渋の選択としての対応など、ご法義に順つていないと思える対応もなされてきました。このような過去に学び、時代の常識を無批判に受け入れることがないよう、また苦渋の選択が必要になる社会が再び到来しないよう、注意深く見極めていく必要があります。

宗門の現況を考えます時、各寺院にご縁のある方々への伝道はもちろんのこと、寺院にご縁のない方々に対して、いかにしたらきかけていくのかを考えることも重要です。本願念仏のご法義は、時代や社会が変化しても変わることはありませんが、ご法義の伝え方は、その変化につれて変わっていくかねばならないでしょう。現代という時代において、どのようにしてご法義を伝えていくのか、宗門の英知を集める必要があります。

また、現代のさまざまな問題にどのように取り組むのか、とりわけ、東日本大震災をはじめとする多くの被災地の復興をどのように支援していくのかなど、問題は山積しています。



息の消息に際しての門主様ご挨拶に際しての消息

「自信教人信」のお言葉をいただき、現代の苦悩とともに背負い、御同朋の社会をめざして皆様と歩んでまいりたいと思ひます。

平成二十六年 六月六日
二〇一四年

龍谷門主 釋 專如

就任の挨拶

小樽別院輪番 林 安明



去る4月1日付で本願寺小樽別院の輪番を拝命いたしました。着任して約3

カ月となりますが、この間、別院の活動の様子を見させていただき、小樽の街にも少しずつ慣れてまいりました。（坂があちこち多いのには少々閉口しております。）

北海道における浄土真宗の伝道は開拓の歴史に深くかかわっております。今から二〇〇年余り昔、北の大地を開拓された先人達は厳しい自然と過酷な労働、つらい日々の生活を生き抜かれて、北海道発展の礎を築かれました。今日、私たちが享受する繁栄はその「苦勞のお蔭」に他なりません。

小樽別院もまた、その草創以来、多くの先達の仏法を求め熱い想いが結集されて建立され、今日に至っております。こうしたことを歴史に学び、先人の「苦勞を想う時、様々なご縁に「お蔭さま」とお念仏申さずにはおられません。

折から、今年がわが宗門にとって歴史的な法統継承の年であり、去る6月5日に第二十四代即如ご門主様が退任され、新たに専如新門主様が第二十五代ご門主を継承されました。日本各地の別院住職はご門主様ですので、当小樽別院のご住職も新たにご門主様が交代されました。

その専如ご門主様は、法統継承に際して「本願念仏のご法義は、時代や社

会が変化しても変わることはありませんが、ご法義の伝え方は、その変化につれて変わっていくかねばならないでしょう」とご消息にお示し下さいました。

私は小樽別院の輪番就任にあたり、このご教示をしっかり心に留めて、別院のご門徒の皆様は勿論のこと、これまであまりご縁のなかった一人でも多くの方々にもお念仏のみ教えが伝わってゆくよう、微力を尽くす所存であります。皆様方のお力添えとご協力をお願い申し上げます。着任のご挨拶といたします。

合掌

退任の挨拶

築地本願寺副宗務長 富永 眞秀



二〇三二年（二十五）年四月、本願寺小樽別院に着任して二年間の短い間

はありましたが、大きな財産を得ることができました。

北海道の浄土真宗の歴史は約百五十年とまだ浅く、「つきたての餅」の如く、まだまだ延びて行くと期待いたしております。

先人の皆さまは、冬の厳しい自然界の中にあつても、お念仏の温もりを大切に、今日まで守り伝えてくださいました。今、私達の大きな使命は、次代にお念仏を相続して行くことです。

共に手を携えて、強く明るくお念仏の人生を歩ませていただきますように。

合掌

退任に際しての消息

本日、平成二十六年六月五日をもって、私は本願寺住職ならびに浄土真宗本願寺派門主を退任し、後を本願寺副法・新門に託すことにいたしました。

昭和五十二年四月一日、法統を継承して以来、三十七年二か月になります。至らぬことが多々あった中、今日まで務めることができましたのは、仏祖のご加護は申すまでもなく、宗門内外の方々のご支援、ご理解とご協力のおかげであります。皆様に、心より感謝申し上げます。

この間、本願寺では、阿弥陀堂の修復、顕如上人四百回忌、蓮如上人五百回忌、御影堂の修復、宗祖聖人七百五十回大遠忌等のご縁を皆様とともにすることができました。さらに、北境内地を取得できたお蔭で、活動をより広く展開できるようになりました。また、宗門では基幹運動の推進とともに、さまざまな活動や事業がありました。世界各地にも、お念仏の輪が広がっています。それらを、巡教などによって身近に知り、御同朋の思いを確かめることができましたこと、まことに有り難く思います。

この三十七年間は勝如前門主の戦争を挟んだ激変の五十年に比べれば、やや穏やかとも言える時代でしたが、国内では大小の天災・人災が相次ぎ、経済価値が優先された結果、心の問題も深刻化しました。世界では、武力紛争、経済格差、気候変動、核物質の拡散など、深刻なあるいは人類の生存に関わる課題が露わになりました。その中で、心残りには、浄土真宗に生きる私たちが十分に力を発揮できたとは言えないことです。

私たちの宗門は、門信徒一人ひとりに、み教えが受け継がれるという素晴らしい伝統をもっています。これからも、社会の変動の中にあつて、浄土真宗のみ教えや伝統にある多様な可能性を見つけ出し、各人、各世代、それぞれの個性と条件を活かし、特に若い世代の感性と実行力を尊重して、一人でも多くの方を朋とし、御同朋の社会をめざして歩むことができるよう願っております。

後を継ぎます新門主は、築地本願寺で五年九か月の間、副住職を務めて経験を積み見聞を広めています。今後は、法統を護るとともに、宗門全体を思い、広く宗教界を視野に入れて、務めることとなります。皆様の一層のご支援をお願いいたします。



退任に際しての消息をご拝読された前門様

なお、私は、七十歳まであと一年余りとなりました。先のことは予測できませんが、阿弥陀如来の揺るぎない本願力の中に、宗祖聖人のみ教えを仰ぎ、浄土真宗の僧侶としての務めを、できる限り果たしたいと思っております。

平成二十六年
二〇一四年

六月五日

龍谷門主 釋 即 如



阿弥陀堂（本堂）



御影堂

国宝に指定



阿弥陀堂門



御影堂門



経蔵

このほか、鼓楼・手水所・総門（附・築地堀、御成門、目隠堀）旧真宗信徒生命保険株式会社本館【本願寺伝道院】（附・棟札、石欄柱）が重要文化財に指定されました。

※ 文部科学省に設置の文化審議会の答申では、【本願寺は、西本願寺と呼ばれる浄土真宗本願寺派の本山で、既に唐門や飛雲閣などが国宝に指定されている。

御影堂は寛永13（1636）年に建てられ、東西48メートル、南北62メートル、高さ29メートルで現存する江戸時代の建築物としては最大級の規模。北側に並ぶ阿弥陀堂とともに、浄土真宗本願寺派本山の象徴としての意義が評価された。】との発表です。

【本願寺新報5月20日号 第3168号より転載】

国の文化審議会は5月16日、「本願寺阿弥陀堂」と「本願寺御影堂」を国宝として新規指定、「旧真宗信徒生命保険株式会社本館（本願寺伝道院）」を重要文化財（建造物）の新規指定、「本願寺」として建築群（阿弥陀堂門、御影堂門、経蔵、鼓楼、手水所、総門）を重要文化財の追加指定とすることを文部科学大臣に答申した。この結果、官報告示を経て国宝、重文に指定されることになる。

この度、ご本山本願寺の建物が国宝・重要文化財に指定されました。詳細は左記に本願寺新報より転載させていただきます。

本山本願寺（通称西本願寺）の 阿弥陀堂 御影堂が国宝に！

降誕会写真



去る、五月十八日。小樽別院に於きまして宗祖親鸞聖人のご生誕を祝う降誕会を勤めさせていただきました。前日までの悪天候により、急遽境内でのイベントを会館に移しての開催になりましたがたくさんの方に御来院いただきました。途中お餅が足りなくなったりご迷惑おかけする場面もございましたが、たくさんの方々のご協力により無事勤めることができました。ありがとうございました。今年来れなかった方も来年は是非お越しください。



江差・函館別院を巡る 団体参拝

五月三十日・三十一日

小樽別院様ご一行 一泊二日団体参拝

「また、来年もよろしく願います。」
帰りの車中でご参加の方々から温かいお言葉とプレッシャー（笑）をいただけるながら無事旅を終えることができました。

今回は定員に達し参加できなかった方にはせっかくの御縁、大変申し訳なく思っております。昨年新築された函館別院と道内最古の江差別院。それぞれに時代や土地柄を背負った大変立派な建物でありました。でもそれより、「ようこそ」と迎えてくださった職員とご門徒の温かさに「やっぱりお寺は良いな」と感謝いたしました。お寺、そこは見て楽しむ建物だけではなく、僧侶・門信徒が丸となって守り、受け継いでいく間法の道場でもあります。道中はバスに揺られ、函館観光も満喫し、また函館へ来たいと余韻を残し戻ってまいりました。



盂蘭盆会

（ご法要のご案内）

日時

8月15日（金）～16日（土）

午後1時半より

場所

小樽別院本堂

初盆法要

昨年の八月十七日から
今年の八月十六日までの期間で

葬儀を執り行われたご遺族皆様にご案内させていただきます。

亡き方を通じて私自身がお念仏を慶ばせていただくご縁でございます。ぜひ、ご参拝ください。

日時

8月16日（土）

午前11時より

場所

小樽別院本堂

御法話

小樽別院輪番



お盆を迎えるにあたって

（小樽別院よりのお祝いとお知らせ）

もうすぐお盆の時節になります。

この時期は大変多くの方のご参詣をいただいておりますが、中には年に一度のことので、勝手がわからないという方もいらっしゃるかもしれません。

ここであらためて、お寺からのお祝いとお知らせと掲載させていただきますので、ご一読願います。

その① 納骨堂のお参りについて

基本的にいつでも大丈夫ですが、読経を希望される場合は、八月十三日～十六日の四日間は納骨堂に職員が常駐しております。

時間帯は午前八時過ぎから午後六時（閉門）までを目安にご参拝ください。

尚、十五日・十六日は盂蘭盆会と宗祖月忌と永代経法要を午後一時半より本堂にて修行いたしますので、午後一時から二時過ぎまで納骨堂での読経は中止させていただきます。

その② 納骨堂の管理費について

期間中は本堂にて受けつけております。お盆の時期しか受けつけてないと思われる方も多いですが、期間は翌年3月末までいつでも寺務所で受け付けております。

その③ 門徒会費とお布施

納骨堂の管理費とは別に全門徒宅に門徒会費をご納入いただいておりますので、ご確認いただきご来院ください。

また、納骨堂での読経を希望される方は、お布施をご用意ください。

その④ お供物について

毎年、みなさまからたくさんのご意見やお願いを頂戴しますが、納骨堂の供物はお参りに来られる方が持参し、お参りが終わったらお持ち帰りください。

また、供物がなくなつたという苦情もありましたため、お盆期間中の供物の回収は中止いたします。

とくに供物が傷みややすい時期ですので、ご注意いただきますようお願いいたします。

お問い合わせは

電話 ○一三四（二二）○七四四
FAX ○一三四（二九）四〇八〇

小樽別院寺務所まで

お寺の行事カレンダー

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7 常例布教 午後2時～	8 百日参拝終了式 常例布教 午後2時～	9 常例布教 午後2時～
← 盆参詣（ご自宅にお伺いいたします） →						
10 常例布教 午後2時～	11 常例布教 午後2時～	12	13 常例布教 午後2時～	14 盂蘭盆会 午後1時30分～ 常例布教 午後2時～	15 盂蘭盆会 午後1時30分～ 常例布教 午後2時～	16 初盆法要 午前11時～ 常例布教 午後2時～
→ 盆参詣（ご自宅にお伺いいたします） ←			← 納骨堂読経期間（午前8時すぎから午後6時まで） →			
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7 常例布教 午後2時～	8 常例布教 午後2時～	9 常例布教 午後2時～	10 常例布教 午後2時～	11 常例布教 午後2時～	12	13 常例布教 午後2時～
14 常例布教 午後2時～	15 常例布教 午後2時～	16 常例布教 午後2時～	17	18	19 納骨堂総追悼法要 午後1時(予定)	20 秋季彼岸会 (午後1時30分より)
→ 秋季彼岸会(午後1時30分より) ←						←
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

住宅設備工事店

ホーム設備サービス

- 増改築工事 ●流し回り、風呂廻り改修
- 給湯器取付取替 ●配管取替
- ストーブ取付取替 ●暖房ボイラー取付取替

その他取替取付 小樽市住吉町15番8号
ご相談に応じます TEL・FAX 0134-22-6966

株式会社 日本旅行北海道 小樽支店

〒047-0032
小樽市稲穂2-22-4 樽石ビル1F
TEL 0134-33-4455 FAX 0134-33-4465
お得な旅情報 <http://www.nta.co.jp/hokkaido/>

営業時間
平日9:45～18:00
(土・日・祝日・休業)



学校卒業アルバム等制作
証明写真(パスポート、各種免許)
発表会、イベントなどの各種出張撮影
写真・画像修整加工
デジカメプリント・DPE受付

写真のたかはし

〒047-0034 小樽市緑1丁目5番5号
TEL/FAX (0134)22-8959

広告募集

「おたる西別院だより」に掲載して下さる商店や業者等を募集しております。
詳しくは **0134-22-0744** 別院だより担当者:森までご連絡ください。

新職紹介と退職挨拶



この度ご縁をいただき、4月から小樽別院からお世話になっております本田と申します。以前は京都で学生をしておりまして、北海道という土地ははじめてで、日々新しい発見があり、とても充実した日々を送らせて頂いております。不慣れな面もありますが、京都で学んできたことを活かしながら、京都で勤めてまいります。これから宜しくお願致します。

本田 淨



今年度より小樽別院にて奉職させて頂くこととなりました。津田造士です。ともにお念仏を喜ぶ一人として皆様のお手伝いができるよう力を尽くしたいと思っております。また、小樽の冬を乗り切れるよう力を尽くしたいです。

津田 造士



この度、四月一日付で本願寺札幌別院へ異動となりました。平成二十二年より四年間、小樽別院にて尊いご縁のお育て頂きました。新任地の札幌別院では、小樽別院にてお育ていただいた事を旨に精一杯奉職させて頂ければと思っております。札幌別院にお越しの際は、お声がけくだされば幸いです。ありがとうございます。

門上 誓淳

小樽別院よりのお願いとお知らせ

小樽別院に登録されている代表者の方の連絡先が不明になっていたりご家庭が増えてきております。左記の場合には必要書類にご記入いただきご提出をお願いしておりますので必ずお寺までお申し出ください。ようお願い申し上げます。

①代表者または納骨堂管理者の転居

②代表者または納骨堂管理者が変更になる場合

※ご印鑑や印鑑登録証明・戸籍謄本、ご本人の署名が必要となる場合がございますので、事前にお電話にてご連絡いただきますようお願い申し上げます。

尚、お盆・お彼岸等別院行事のある場合は、ご希望の日時での納骨やご法事等お受けできない場合がございますので、こちらも事前に別院に日程や時間をご相談ください。

お問い合わせは

電話 〇三三四(三)〇七四四

FAX 〇三三四(二九)四〇八〇

小樽別院寺務所まで

別院門徒物故者（平成二十六年五月末現在）

通夜・葬儀の御案内

小樽別院会館ホールにて通夜・葬儀会場として使用できます。亡き方がくださった大切なご縁をぜひ菩提寺にて。詳細につきましては寺務所までお問い合わせください。



（写真は会館ホール）



（写真は浄縁塔仏間）

▶小会場もございます（20名程度）

テレホン法話

●テレホン法話担当表

8/ 1(金)~8/15(金)	津田
8/16(土)~8/31(日)	西川(副)
9/ 1(月)~9/16(火)	岡崎
9/17(水)~9/30(火)	磯村

TEL 27-1616

編集後記

風かおる季節となりました。5月18日の降誕会は林輪番様はじめ門信徒の皆さまのおかげで無事終わりました。誠にありがとうございました。

さて、五月晴れの中、5月30・31日に小樽別院主催の函館・江差参拝旅行に参加いたしました。当日は小樽別院にて午前6時30分から本堂で晨朝参拝し、7時30分に小樽を出発いたしました。江差別院・函館別院を参拝できることを大変嬉しく思い、両別院の沿革を聞きながら、先人達の「一生懸命」の力が現在に続いていることを尊く感じました。しかし、両別院もさることながら、小樽別院の本堂も立派であると改めて心より感じました。今回の旅行を通じ、ただただ尊い縁に感動でいっぱいです。最後に御輪番、職員様、旅行会社の皆様、大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。皆様、別院便りに色々な御意見をお寄せください。よろしく願いいたします。合掌

福川ヨシ子

連絡先

本願寺小樽別院
小樽市若松1丁目4番17号
☎0134-22-0744
FAX 0134-29-4080

編集委員

門徒委員 別院担当者
平田 晴己 西村 玄介
竹澤 知恭 森 敬信
福川ヨシ子

みんな仲良し 小樽幼稚園

4～6月
幼稚園のようす

～まこと(いのち)の保育を行っています～



市内の公園へ
遠足です。



消防訓練。
隊員のみなさんに
お話しして
もらいました。



お祝いの
誕生日の
お祝い。



今年も晴れました。
お父さんも、お母さんも、
おじいちゃんも、おばあちゃんも
大声援!!



花まつり

運動会

他にも

プール遊び

英語遊び

体操教室

毎月行っています。

プレ保育 (いちご組) 受付中 ※途中入園可

就園前のお子さんを対象に、毎週1回保育をします。親子一緒に幼稚園に来ていただき、保育者やお友だち、親子の触れ合いを通して、みんなで遊ぶ事の楽しさを味わい、少しずつ集団生活に慣れていただくことを目的としています。

対象 満2歳児、2歳児、3歳児

時間 毎週火曜日 10:00～12:00

料金 1回500円

見学もできますので、詳しくはお電話にてお問い合わせください。

園児募集中

※詳しくは、入園案内をごらんください。

3歳のお誕生日を迎えたお子さんの途中入園を募集しております。

詳しくはお電話でお問い合わせ下さい。



学校法人 小樽龍谷学園

小樽市若松1丁目4番17号

小樽幼稚園 TEL 0134-22-6536
FAX 0134-22-6537